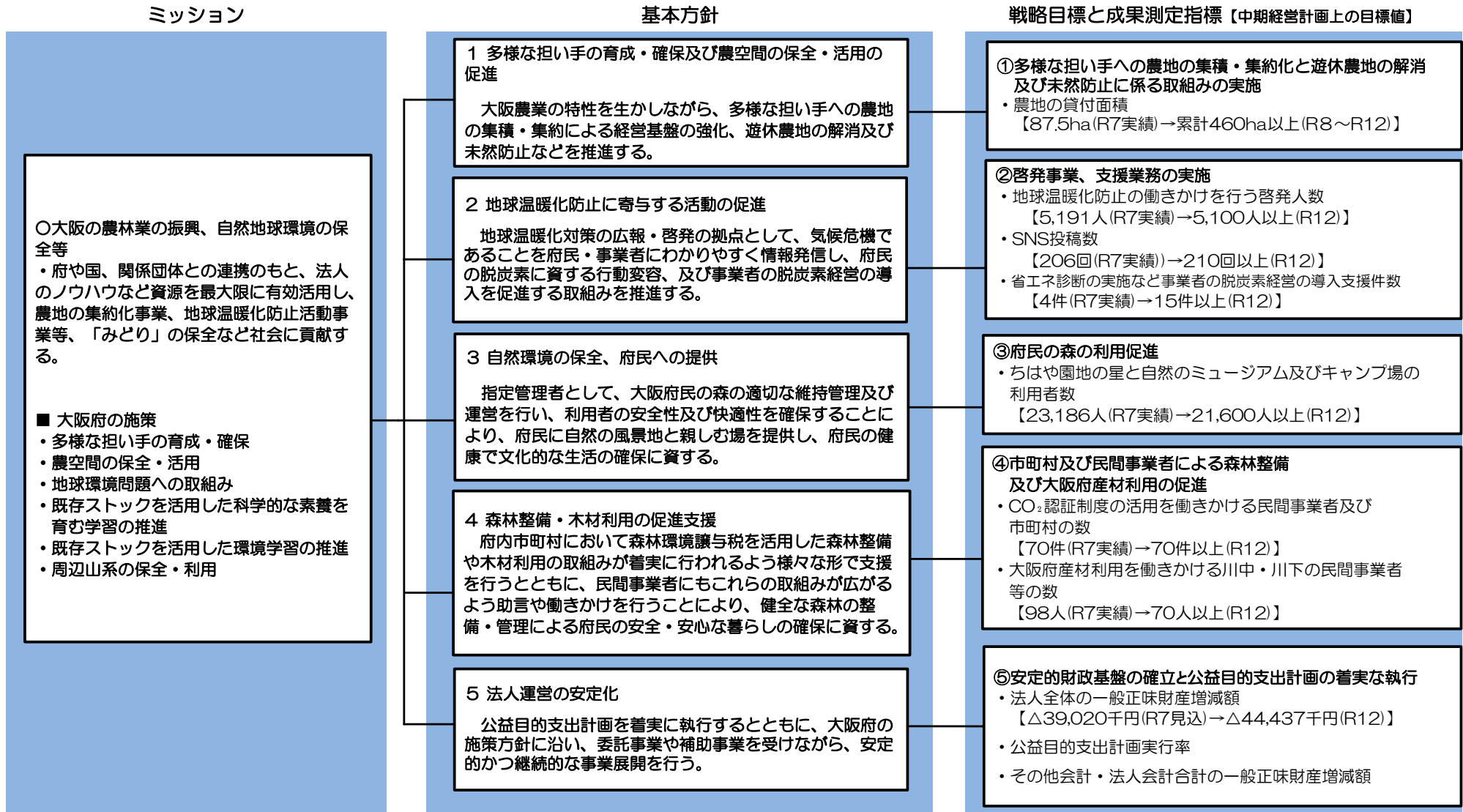


法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
作成(所管課)	環境農林水産部環境農林水産総務課

○ 経営目標設定の考え方



○ 令和7年度の経営目標達成状況及び令和8年度経営目標設定表

I. 最重要目標(成果測定指標)													
戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6実績値	R7目標値	R7実績値 〔見込値〕	R7ウエイト	R7得点	R8目標値	R8ウエイト	中期経営計画 (R8～R12)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の場合は、その理由も記載
											R8目標値	最終年度 目標値	
① 多様な担い手への農地の集積・集約化と遊休農地の解消及び未然防止に係る取組みの実施	農地の貸付面積 ※面的整備地区を含む	☆	ha	(56.6)	—	(87.5)	—	—	↓80.6	40	80.6	累計460	前期中期経営計画においては、面的整備地区を除いた目標設定としていたが、新中期経営計画においては、事業全体の成果を測定するため、全農地貸借面積(面的整備地区を含む)を目標項目とした。今後とも貸借面積の増加傾向が維持できるよう努める必要があることから、これまで(H26～R7)の貸借実績(面的整備地区を含む)から設定した目標値(R12年度までの累計459.4ha)を上回る累計460ha以上を目標とした。また、面的整備地区の事業進捗状況が単年度の目標・成果の評価に与える影響を排除するため、累計値で進捗管理を行うこととした。
多様な担い手への農地の集積・集約化と遊休農地の解消及び未然防止に係る取組みの実施	農地の貸付面積		ha	41.1	42以上	87.5	30	30	—	—	—	—	—
	地域への働きかけ		回	51	52	52	10	10	—	—	—	—	—
法人経営者の考え方(取組姿勢・決意)												戦略目標達成のための活動事項	
最重要とする理由、経営上の位置付け	<p>○日本の農業・農村を取り巻く状況は、基幹的農業従事者の高齢化や遊休農地の増加、農業所得の減少等が進行するなど厳しさが増している。このため、国においては、農業の構造改善の加速化、農業の産業としての強化、農業・農村の所得の増加を目指すことにより、若者たちが希望を持つことができる農業・農村を作り上げることが目指している。</p> <p>○これを具体的に進めるための柱の一つとして、農地中間管理機構を通じた農地の集約化等生産コストの削減が掲げられ、平成25年に「農地中間管理の推進に関する法律」が制定、翌年に「農地中間管理の推進に関する基本方針」が大阪府で策定されるとともに、当該法律に基づき府内で唯一の事業機関として当社は「農地中間管理機構」に指定された。</p> <p>○当社は、大阪府における地域社会と調和のとれた農林業の振興を図るとともに、地球環境の保全及び自然環境の回復等良好な生活環境の保全を推進していくことを目的としている。</p> <p>○大阪府より農地中間管理機構として求められている「担い手の育成、農地の集積・集約化の推進、遊休農地の解消や未然防止」等は、公社の理念とも合致していることから、当該事業を公社4本柱の最重要事業として実施する。</p>												
最重要目標達成のための組織の課題、改善点	<p>○農地と農業者のマッチング(一部事務手続きを含む)までの業務を担うべき市町村の体制が脆弱なため、本来機構が担うべき役割以上の業務を機構が実施しながら取り組んでいる。</p> <p>○機構は農地貸借の手続き事務を主な業務としているが、対象となる農地や農業者の掘り起こしやマッチングを円滑に行うためには、機構が中心となって大阪府、市町村、農業委員会、JA、土地改良区等との連携が不可欠である。このため、大阪府の農地利用促進チームや各団体との連絡調整会議等を積極的に実施し、情報共有や一体となった活動に一丸となって取り組んでいく。</p> <p>また、土地改良区等に事業PRや取組みの促進に必要となるきめ細かな情報収集等にも取り組んでいく。</p> <p>○これら推進体制を強化することにより実績を挙げ国補助金の確保に努める。</p>												
活動方針	<p>○農地の面的な貸借:条例における農空間保全地域制度及び機構関連農地整備事業実施に繋がる地区など、面的事業展開に重点的に取り組む。</p> <p>○事業活用に向けた積極的な地域への働きかけと事業PRを行う。</p> <p>○規模拡大意欲が強い若手農業者や新規参入予定者に対し事業説明を行う。</p>												

1 大阪府や市町村、関係機関との連携強化
農地中間管理事業の推進には、大阪府や市町村、関係機関との連携が重要であることから、さらに、連携強化を図る。
①大阪府と機構の役割分担の上に加えて、府と連携し、府の農地利用促進チームと一体となって面的な取組みを更に進める。
②市町村、農業委員会、JA及び土地改良区等農業団体と緊密に連携し事業を実施する。とりわけ、農業委員、農地利用最適化推進委員が地域における協議の場に積極的に参加することが法令で明確化されたことから、農業委員会とより密接に連携を図る。

2 重点地域等地域への具体的な働きかけ
①条例における農空間保全地域制度及び機構関連農地整備事業実施に向けた取組みが進んでいる地区や機運が高まっている地区での重点的な取組みのほか、農地中間管理事業の更なる周知や今後の重点地区の掘り起こしに向け、大阪府や市町村とともに農地中間管理事業の活用に向けて、地域へ働きかけを行う。
②具体的な働きかけ
大阪府や市町村とともに、地域の農業者の現状やハード・ソフト面のニーズ、地域の将来像への考え方を共有し、地域のキーパーソンと連携しながら、農地中間管理事業の活用を働きかける。また、規模拡大農家が不在の地域に対しては、府と連携し、機構関連農地整備事業の実例を紹介しながら、事業の活用を促す。

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

II. 設立目的と事業内容の適合性(事業効果、業績、CS)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6実績値	R7目標値	R7実績値 【見込値】	R7ウエイト	R7得点	R8目標値	R8ウエイト	中期経営計画 (R8～R12)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の 場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
											R8 目標値	最終年度 目標値		
② 啓発事業、支援業務の実施	地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数	☆	人	(5,132)	—	(5,191)	—	—	↓5,100	5	5,100	5,100	中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度はこれまで本指標の実績に含めていたSNS投稿に係る実績分を除いて算出したR5年度～R7年度の3か年実績平均値(5,089人)を上回る5,100人以上を目標とする。	・大阪府や市町村と協働して、環境イベントや出前講座、セミナー等の啓発機会を開拓するとともに、効果的な動画発信による啓発にも努める。
	SNS投稿数	☆	回	(18)	—	(206)	—	—	210	5	210	210	中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度はR7年度実績値(206回)を上回る210回以上を目標とする。	・大阪府地球温暖化防止活動推進センター公式X、インスタグラムを通じて、当センターのイベントやセミナー等の啓発事業の情報発信を行うとともに、関連機関等の参考情報についても積極的に情報共有する。
	省エネ診断の実施など事業者の脱炭素経営の導入支援件数	☆	件	(14)	—	(4)	—	—	15	10	15	15	中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度は事業者に対する普及・啓発事業を本格的に開始したR6年度(14件)及びR7年度(4件)の実績を踏まえ、15件以上を目標とする。	・大阪府と連携し、おおさか脱炭素経営支援センターを開設し、脱炭素経営の導入を目指す事業者に対して、相談対応、伴走支援、支援事業者とのマッチング等の支援を行う。
啓発事業、支援業務の実施	地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数 (SNS投稿へのエンゲージメントを含む)		人	5,475	5,500	7,053	10	10	—	—	—	—	—	—
	研修・活動機会の提供により支援した推進員の延べ人数		人	86	150	154	10	10	—	—	—	—	—	—
③ 府民の森の利用促進	ちはや園地の星と自然のミュージアム及びキャンプ場の利用人数	☆	人	(21,784)	—	(23,186)	—	—	↓21,900	10	21,600	21,600	中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度は新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後のR5年度～R7年度の3か年実績平均値(21,832人)を上回る21,900人以上を目標とする。	・ SNSを利用した積極的な情報発信を継続するとともに、利用者自らが園地の魅力を発信いただけるよう働きかけを行う。 ・ 豊かな自然や金剛山頂域の星空を満喫できる、多彩なイベントを実施する。 ・ アクセスが良い駐車場での星空観察会、キャンプ体験等のイベントを行い、園地の利用促進につなげる。 ・ 利用促進を進め、利用料金収入や直営事業の収益の向上につなげる。
府民の森の利用促進	SNSによるちはや園地の魅力発信に対するフォロー数等		人	1,725	1,785	2,572	10	10	—	—	—	—	—	—
④ 市町村及び民間事業者による森林整備及び大阪府産材利用の促進	CO ₂ 認証制度の活用を働きかける民間事業者及び市町村の数	☆	件	(68)	—	(70)	—	—	70	10	70	70	中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度はR5年度(66件)、R6年度(68件)、R7年度(70件)の3か年実績平均値(68件)を上回る70件以上を目標とする。	・地球温暖化防止や環境保全等に関心を持つ民間事業者への個別訪問や市町村向けの研修会の開催等を通じて制度の活用を働きかけるとともに、森林整備や木材利用の実施に向けた助言・支援を行う。
	大阪府産材利用を働きかける川中・川下の民間事業者等の数	☆	人	(64)	—	(98)	—	—	↓70	10	70	70	中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度はR5年度(43人)、R6年度(64人)、R7年度(98人)の3か年実績平均値(68.3人)を上回る70人以上を目標とする。	・外材、国産材の製品の製造事業者や加工事業者等への個別訪問や設計者向けの勉強会の開催等を通して大阪府産材の特徴や活用するためのノウハウの提供等を行いながら、利用促進を働きかける。
市町村による森林環境譲与税を活用した森林整備・木材利用の促進支援	森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数(森林を有する33市町村中)		市町村	5	10	×2	10	0	—	—	—	—	—	—
	森林環境譲与税により大阪府産材を使って実施した木材利用の事業数		件	19	21	[21]	10	10	—	—	—	—	—	—

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

Ⅲ. 健全性・採算性(財務)、コスト抑制と経営資源の有効活用・自立性の向上(効率性)

戦略目標	成果測定指標	新規	単位	R6 実績値	R7 目標値	R7 実績値 〔見込値〕	R7 ウエイト	R7 得点	R8 目標値	R8 ウエイト	中期経営計画 (R8～R12)		R8目標設定の考え方 (数値の根拠) ※累積数値による目標設定の 場合は、その理由も記載	戦略目標達成のための活動事項
											R8 目標値	最終年度 目標値		
											⑤ 安定的財政基盤の確立と公益目的支出計画の 着実な執行	法人全体の一般正味財産増減額		
公益目的支出計画実行率 (当年度公益目的支出額/計画額:55,094千円)	☆	%	(58.9)	—	((72.0))	—	—	72.7	2	—	—	公益目的支出計画の年間支出額 55,094千円に対する、農地中間管理 事業等農地関連事業、自然環境保全 関連事業(大阪府民の森管理運営事 業)、地球温暖化防止活動推進支援 等事業にかかる公益目的支出合計の 実行率を目標とする。	・公益目的支出計画の進捗に向け、農地中間管理事業等農地関 連事業、自然環境保全関連事業(大阪府民の森管理運営事 業)、地球温暖化防止活動推進支援等事業の3事業について、大 阪府などの関係機関等とも連携の上、着実に取組を進める。	
その他会計・法人会計の一般正味財産増減額	☆	千円	(5,670)	—	((644))	—	—	1,100	2	—	—	金剛登山道駐車場の増収見込みによ り、R8年度は中期経営計画(R8年度 ～R12年度)上の目標値820千円を上 回る1,100千円以上を目標とする。	・新規の収益事業獲得に向けた取組強化、コストの適切な管理に 努める。	
						R7得点合計 〔見込得点合計〕	[80]							

- 【凡例】
- ・☆はR8年度からの新規項目
 - ・×は目標値未達成
 - ・↓は前年度実績比マイナスの目標値
 - ・〔 〕内の数値は、参考として記入した実績見込値
 - ・()内の数値は、当該年度の経営目標として設定していないため、参考として記入した実績値

法人名	一般財団法人 大阪府みどり公社
-----	-----------------

CS調査の実施概要

○令和7年度の実施結果

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
ちはや園地利用者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・星と自然のミュージアム、ログハウス休憩所、キャンプ場管理事務所にアンケート用紙を常時配備 ・イベント参加者へのアンケート記入依頼 	園地利用者	270件	令和7年4月～令和8年2月

実施結果の主な内容	実施結果を踏まえた取組
<ul style="list-style-type: none"> ・大阪でこんなに星空が見れるとは思いませんでした。 ・鳥や花のことを教えて頂きながら自然散策できてとても楽しかったです。 ・(野鳥観察会で)後ろに並ぶ人達も見たり聞こえたりがもう少し欲しい。 ・できたてのピザが食べられてとても楽しかったです。 ・施設もきれいに整備されていて、ありがたく利用させてもらってます。 ・四季の谷のデッキが傷んでいるので修理してください。 	<p>(結果を踏まえ実施した取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの人が参加する野鳥観察会等において、ガイドを2名に増やすなどの対応を実施。 ・トイレなどの施設を気持ちよく使って頂けるよう、清掃や設備の維持管理を実施。 <p>(今後実施予定の取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・星空、昆虫、野鳥等テーマを決めた観察会を継続して実施予定。 ・老朽化施設について、大阪府と協力して順次補修予定。

○令和8年度の実施方針

調査内容	実施方法	アンケート等対象者	対象者数	実施時期
ちはや園地利用者の満足度	<ul style="list-style-type: none"> ・星と自然のミュージアム、ログハウス休憩所、キャンプ場管理事務所にアンケート用紙を常時配備 ・イベント参加者へのアンケート記入依頼 ・WEBIによるアンケート収集 	園地利用者	300件	令和8年4月～令和9年3月

■ 目標値未達成の要因について

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

[1]

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数(森林を有する33市町村中)	市町村	10	2	△ 8

未達成の要因				要因分析(要因と考える根拠)					要因分析を踏まえた今後の対応			
①	市町村による森林整備の計画策定に時間を要している			森林整備を進めるにあたっては、各市町村の森林の状況を分析し、間伐や危険木の除去など必要な整備の優先順位を付けた上で整備計画を策定するが、計画策定に向けた市町村の意思決定に時間を要する、計画策定作業に複数年を要するなど、森林整備に着手する前段階の計画策定に時間を要するケースが見られる。							<p>計画策定中の各市町村の作業状況を踏まえ、計画策定作業が着実に進めることが出来るよう必要な助言を行うとともに、計画策定後には速やかに森林整備に着手されるよう、事業実施に向けて必要な作業の検討・準備を支援するなど、市町村毎の個々の状況に応じて、必要な助言・支援を行う。</p>	
	関連項目名	-	単位	-	R7当初想定値	-	R7実績値	-	差	-		
②	市町村による森林所有者の特定・意向確認、境界確認等に時間を要している			計画を策定した後、整備事業の実施に先立って整備が必要な森林について、その森林所有者の特定や事業実施への理解を得ることが必要となる。また、所有する森林の境界が不明確のケースも多くあり境界の確認に時間を要するケースも少なくなく、必要な区域の所有者の特定、境界の確認、事業実施への同意を得るのに、時間を要するケースが見られる。							<p>森林所有者の意思確認や境界確認等や森林整備事業の発注手続き等について、各市町村が必要とする情報やノウハウの提供を行うこと等により、森林整備が着実に実施されるよう、市町村の状況に応じて、継続して助言・支援を行う。</p>	
	関連項目名	-	単位	-	R7当初想定値	-	R7実績値	-	差	-		

■ 目標値未達成の要因について

[2]

成果測定指標	単位	R7年度目標値	R7年度実績値	目標値との差
法人全体の一般正味財産増減額	千円	△ 37,214	[△ 39,020]	△ 1,806

未達成の要因				要因分析(要因と考える根拠)					
①	事業規模の縮小			<ul style="list-style-type: none"> ・環境分野において、入札やプロポーザル案件で事業獲得に至らなかったことによる収益減 ・森林整備・木材利用促進支援センター事業の受託費の減額による収益減 					
	関連項目名	事業収益	単位	千円	R7当初想定値	41,861	R7実績値	36,680	差



要因分析を踏まえた今後の対応
環境分野、自然環境保全分野において、引き続き、国、府、市町村等の受託事業を注視し、情報収集しながら、入札やプロポーザルに参加し、事業獲得を目指していく。

法人名

一般財団法人大阪府みどり公社

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

[1]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
農地の貸付面積	ha	42以上

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
農地の貸付面積 ※面的整備地区を含む	ha	80.6

成果測定指標の
変更(廃止)を
希望する理由

・前期中期経営計画においては、面的整備事業の実施に伴う年度実績の影響を排除するため、面的整備地区を除いた目標設定としていたが、新中期経営計画においては、面的整備事業との連携をより強化するため、また事業全体の成果を測定するため、全農地貸借面積(面的整備地区を含む)を目標項目とした。
・今後とも貸借面積の増加傾向が維持できるよう努める必要があることから、これまで(H26～R7)の貸借実績(面的整備地区を含む)から設定した目標値(R12年度までの累計459.4ha)を上回る累計460ha以上を目標とした。
・また、面的整備地区の事業進捗状況が単年度の目標・成果の評価に与える影響を排除するため、累計値で進捗管理を行うこととした。

[2]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
地域への働きかけ	回	52

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の
変更(廃止)を
希望する理由

・これまで機構が担ってきた農地の掘り起こしやマッチングについては、法改正後、市町村・農業委員会が担うこととなり、今後、機構は市町村が策定した「地域計画」に基づく農地貸借を重点的に進めていくことになった。
・今後も引き続き、「地域計画」のブラッシュアップのための座談会等、市町村の要請に基づき、地元調整にも参画し事業PR等にも努めていくが、マッチング等の役割が市町村・農業委員会に移行したことに伴い、主体的な活動指標として馴染まないことから廃止する。

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

[3]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数 (SNS投稿へのエンゲージメントを含む)	人	5,500

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
①地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数	人	5,100
②SNS投稿数	回	210

成果測定指標の変更(廃止)を希望する理由

・これまで「地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数」は、SNS投稿に係る実績(投稿に対するエンゲージメント数)を含めた成果測定指標としていたが、SNS投稿はイベントや出前授業等の対面による啓発とは性質が異なるため、新中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、SNS投稿に係る実績を除いた数値(前期計画のR5～7年度実績の平均値5,089人)をもとに、新たな目標として5,100人／年以上を目標とする。

・また、SNS投稿に係る実績については、新たに「SNS投稿数」を成果測定指標に加え、R8年度目標をR7年度実績値(206回)を上回る210回とする。

[4]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
研修・活動機会の提供により支援した推進員の延べ人数	人	150

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
—	—	—

成果測定指標の変更(廃止)を希望する理由

・これまで「住民」に係る成果測定指標は、「地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数」と「研修・活動機会の提供により支援した推進員の延べ人数」の2項目としていたが、新中期経営計画(R8年度～R12年度)では、より本質的な指標である「地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数」に集約して進行管理を行うこととする。

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

[5]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
SNSによるちはや園地の魅力発信に対するフォロワー数等	人	1,785

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
ちはや園地の星と自然のミュージアム及びキャンプ場の利用者数	人	21,900

成果測定指標の変更(廃止)を希望する理由	<p>・前期中期経営計画の目標指標である「SNSによるちはや園地の魅力発信に対するフォロワー数等」は、戦略目標である「府民の森の利用促進」のための手段であることから、新中期経営計画(R8年度～R12年度)では、より本質的な目標である「ちはや園地の星と自然のミュージアム及びキャンプ場の利用者数」を目標指標とする。</p> <p>・毎年度、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の3か年(R5～7)の平均人数(21,832人)を上回る21,900人以上を目標とする。</p>
----------------------	--

[6]

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
森林環境譲与税により新たに計画的な森林整備に着手した市町村数(森林を有する33市町村中)	市町村	10

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
CO ₂ 認証制度の活用を働きかける民間事業者及び市町村の数	件	70

成果測定指標の変更(廃止)を希望する理由	<p>・これまで実施してきた巡回訪問や研修会等により、各市町村に対して必要な知識やノウハウは提供済みであり、当面、森林整備の計画策定をしないとしている8市町を除き、今後、1～3年程度の間には森林を有するすべての市町村において計画的な森林整備に着手される目途は立っている。</p> <p>・また、R5年に運用開始された大阪府CO₂認証制度の活用により、市町村に留まらず、民間事業者にも森林整備や森林整備に伴って生産される木材利用に取組みが広がるよう、働きかけを行うため。</p>
----------------------	---

■ 成果測定指標変更(廃止)希望の理由について

〔7〕

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
森林環境譲与税により 大阪府産材を使って実 施した木材利用の事業 数	件	21

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
大阪府産材利用を働き かける川中・川下の民間 事業者等の数	人	70

成果測定指標の
変更(廃止)を
希望する理由

・R3～7年度の間、市町村における森林環境譲与税を活用した大阪府産材の利用促進に取り組んできており、目標を達成することが出来た。
・今後は、大阪府産材のさらなる利用促進を図るため、市町村に留まらず府民等の利用が広がることを目指し、川中・川下の民間事業者等による大阪府産材を活かした製品の販売や消費者への大阪府産材の活用の提案が広まるよう、働きかけを行うこととするため。

〔8〕

●変更前

R7年度の 成果測定指標	単位	R7年度の 目標値
一般正味財産増減額	千円	△37,214

●変更後

R8年度の 成果測定指標	単位	R8年度の 目標値
法人全体の一般正味財産増減額	千円	△38,935
公益目的支出計画実行率	%	72.7
その他会計・法人会計合計の 一般正味財産増減額	千円	1,100

成果測定指標の
変更(廃止)を
希望する理由

評価軸が異なる会計区分(実施事業等会計とその他会計・法人会計)をもつ当法人の状況を踏まえ、法人全体の経営状況をより適切に把握・評価する観点から、「一般正味財産増減額」に加え、2つの指標を設定
・公益目的支出計画の当該年度の進捗状況を示す「公益目的支出計画実行率」
・収益確保の状況を示す「その他会計・法人会計合計の一般正味財産増減額」

■ 令和7年度実績比 マイナス(現状維持)目標の考え方について

[1]

成果測定指標	単位	R7年度の実績値〔見込値〕	R8年度の目標値
農地の貸付面積 ※面的整備地区を含む	ha	87.5	80.6

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>R7年度は、法改正(R5.4月)に伴う経過措置期間(~R7.3月)が終了した初年度であり、特に大きな数値(異常値)となっているが、異常値の影響を抑制した目標設定をするため、過去のトレンドから目標を設定した。</p>
-----------------------------------	--

[2]

成果測定指標	単位	R7年度の実績値〔見込値〕	R8年度の目標値
地球温暖化防止の働きかけを行う啓発人数	人	5,191	5,100

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>中期経営計画(R8年度~R12年度)に基づき、R5年度~R7年度の3カ年実績平均値(5,089人)を上回る5,100人以上を目標とした。</p> <p><参考:3カ年実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度 4,944人 ・R6年度 5,132人 ・R7年度 5,191人
-----------------------------------	--

法人名	一般財団法人大阪府みどり公社
-----	----------------

[3]

成果測定指標	単位	R7年度の実績値〔見込値〕	R8年度の目標値
ちはや園地の星と自然のミュージアム及びキャンプ場の利用者数	人	23,186	21,900

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>中期経営計画(R8年度～R12年度)の策定に際し、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行後の3か年(R5年度～R7年度見込)の平均人数(21,539人)を上回る21,600人以上を計画の目標とした。</p> <p>令和7年度実績が見込値よりも増加したことを踏まえ、令和8年度は、中期経営計画との整合をとり、3か年(R5年度～R7年度実績)の平均人数(21,832人)を上回る21,900人を目標とした。</p> <p><参考:3か年実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度 20,525人 ・R6年度 21,784人 ・R7年度 23,186人
--	---

[4]

成果測定指標	単位	R7年度の実績値〔見込値〕	R8年度の目標値
CO ₂ 認証制度の活用を働きかける民間事業者及び市町村の数	件	70	70

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>中期経営計画(R8年度～R12年度)に基づき、R8年度は、R5年度(66件)、R6年度(68件)、R7年度(70件)の3か年実績平均値(68件)を上回る70件以上を目標とする。</p>
--	---

法人名

一般財団法人大阪府みどり公社

[5]

成果測定指標	単位	R7年度の実績値〔見込値〕	R8年度の目標値
大阪府産材利用を働きかける川中・川下の民間事業者等の数	人	98	70

成果測定指標	単位	R7年度の実績値〔見込値〕	R8年度の目標値

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	<p>中期経営計画(R8年度～R12年度)の策定に際し、直近3カ年(R5年度～R7年度見込)の平均人数(68.3人)を上回る70人以上を計画の目標とした。 令和8年度は、中期経営計画との整合をとり、同計画と同じ目標とした。</p> <p><参考:3カ年実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ・R5年度 43人 ・R6年度 64人 ・R7年度 98人(見込値も98人)
-----------------------------------	--

<p>マイナス (現状維持) 目標の考え方</p>	
-----------------------------------	--